

# ちゅうざん広報

8月号

## 理学療法課紹介

理学療法士はPhysical Therapistとも呼ばれます。ケガや病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、基本動作能力（座る、立つ、歩くなど）の回復や維持、

麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療法から、動作練習、歩行練習などの能力向上を目指す治療法まで、動作改善に必要な技術を用いて、日常生活の自立を目指します。

および障害の悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法（温熱、電気等の物理的手段を治療目的に利用するもの）などを用いて、自立した日常生活が送れるよう支援する医学的リハビリテーションの専門職です。治療や支援の内容については、理学療法士が対象者ひとりひとりに対して医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。

当院の理学療法課は患者様・利用者様に質の高い治療・支援を提供するために、日々生涯学習に努める教育システムを作り実行しております。具体的取り組みとしては、理学療法領域を①神経 脳や脊髄の障害、②運動器 骨関節の障害、③内部障害 呼吸・循環・代謝の障害、④徒手理学療法 解剖学の知識を用いた手で行う治療技術、⑤生活環境支援（健康増進・予防、介護保険、補装具）の5つに分けた知識・技術の専門グループを作り、各グループが持ち回りで月に1回ずつ理学療法課全体に勉強会を開いたり、定期的にグループ内での勉強会や研究活動への取り組みを行ったりしております。

ます。さらに、理学療法士協会が主催・企画する卒業教育としての講習会や学会への参加・発表も積極的に行っております。また、この協会活動に沿った内容で実習を行っていき、一定の基準をクリアし、筆記試験・審査に合格すれば「専門・認定理学療法士」という資格を得ることが出来ます。この資格を得ることで専門領域のリハビリテーションの知識・技術の証明となります。

まだ沖縄県内の病院・施設において、この資格を持っている者は少ない中、当院理学療法課には2名の脳卒中認定理学療法士資格保有者がいます。当院リハビリテーション部としては、現在も他の領域の資格を得るために積極的に生涯学習に努めているところです。今年度は理学療法課76名にてこのような取り組みを行いながら、患者様・利用者様のためにスタッフ一丸となって頑張っています。何かわからないことや気になることがあれば、どうぞお気軽にスタッフまでお声掛けください。

リハビリテーション部  
理学療法課 村井直人



脳卒中認定理学療法士



水中トレッドミルでのリハビリ風景



当院理学療法士76名

## 回復期リハビリテーションにおける介護職の役割

回復期リハビリ病院では、家庭復帰や社会復帰を目的に、従来の機能訓練だけでなく、日常生活全般を含めてリハビリテーションを行います。その中で患者様がその人らしい生活を送れるように考え、目標に向かって援助することが回復期病棟における介護職の重要な役割です。主な役割の一つとして環境の調整があります。患者様のADL移動・食事などの日常生活動作（や状態に応じてベッドの調整や事故防止のためにチームで情報共有を行う事が大切です。ちゅうざん病院の介護職で毎年KYT危険・予知・予測・トレーニング）の勉強会を行っています。KYTとは危険を予知・予測する能力を高め、危険に対する感受性を鋭くするための訓練です。ベッドの柵が空いている、廊下に物が落ちていたり等、生活の中で転倒に繋がる危険は多くあります。また毎月、介護主任で担当病棟の環境を整えられているかチェックを行っています。患者様の安全・安心のためこれからも努力します。温かいご支援を宜しくお願いいたします。

介護主任 前當 正樹



KYT（危険・予知、予測・トレーニング）の風景



↑ こちらからもアクセスできます

医療法人ちゅうざん会  
ちゅうざん病院

### 病院の概要

ごあいさつ  
沿革  
理念・基本方針  
病院運営の基本  
施設概要  
施設概要  
関連施設(リンク)  
個人情報保護  
リハビリテーション実績統計

### 広報・刊行物

ちゅうざんボックス  
会議・委員会一覧  
研究業績  
学会・研究会の報告  
院内研究会・勉強会  
院内広報  
改善の取り組み

ちゅうざん病院ウェブサイト [ www.chuzan.or.jp ]